

# 取扱説明書

家庭用光美容器

エピレーヴ

品番 PC-940

保管用

保証書付



# ER Epireve

## 目次

<b>はじめに</b>	
安全上のご注意	2
セット内容と各部の名称と製品仕様	7
タッチパネル各部の名称	8
ご使用前に	9
スキントテストの注意事項	10
<b>使いかた</b>	
トリートメントの準備	11
スキントテストの方法(初めてご使用になる方へ)	13
ご使用方法(各種フィルターについて)	15
トリートメント手順	20
トリートメントの頻度/肌トラブルを防ぐために	22
<b>お知らせ</b>	
メンテナンス方法/点検について	23
保管について	24
こんなときは/エラーに関して	25
よくあるご質問/肌のトラブルに関して	26
保証とアフターサービスについて/保証規約	27
保証書	28


このたびは、パルティール製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。


- 正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管してください。
- 本製品を他の人に譲渡するときは、この取扱説明書を必ず添付してください。
- 本製品は美容を目的としたものであり、治療を目的とした使用もしくは販売は、法律上禁じられています。

## 安全上のご注意

- ・ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・定められた手順に従って、無理のないご使用をお願いします。
- ・異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し修理を依頼してください。
- ・異常状態のまま使用されますと、身体に悪影響を及ぼす危険がありますので、絶対にお止めください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ずお守りください。
- ・注意区分は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることで生じると想定される内容を「危険」「警告」「注意」に区分しています。

### ■注意区分について

 **危険** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

 **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害<sup>※</sup>の発生が想定される内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### ■図記号について



してはいけないことを示しています。



しなければならないことを示しています。



注意しなければならないことを示しています。

## 危険



**禁止**

### 次に該当する人は使用しない

医用電子機器の誤動作を招くおそれがあります。

- 医用電子機器を使用している人
  - ・ペースメーカーなどの体内植込式医用電子機器
  - ・人工心肺などの生命維持用医用電子機器
  - ・心電計などの装着型医用電子機器



警告

## 次に該当する人は使用しない

事故、肌や身体トラブルを生じる原因となります。

- ・トリートメント箇所の肌色が適さない方、または元の肌の色が濃い褐色・黒に近い色の方
- ・上記に併せて生来の毛の色が明るい金色、白色、灰色、赤色の方
- ・現在医師の治療を受けている方、健康が特にすぐれない方
- ・妊娠中、授乳中、生理中の方
- ・高血圧の方、血圧異常時、心臓に疾患のある方
- ・発熱、急病、重症、極度の疲労、安静が必要な状態の体調がすぐれない方
- ・皮膚病、接触性皮膚炎がある部位、敏感肌、皮膚感覚の弱い方、過度の日焼けをしている方、アレルギー体質、紫斑になりやすい等、皮膚に既往歴のある方
- ・光に対して過敏症の方、または発赤しやすい方、アレルギー反応のある方
- ・皮膚がん、またはトリートメントしようとする範囲に何らかのがん疾患がある方
- ・トリートメントしようとする範囲にがんの兆候、または異常なほくろがある方
- ・トリートメントしようとする範囲に下肢静脈瘤、血管拡張症などの血管病の既往歴がある方
- ・トリートメントしようとする範囲に皮膚感染、アトピー、やけど、炎症、裂傷、ヘルペスなど皮膚疾患のある方
- ・トリートメントしようとする範囲に過去3週間以内に手術した方
- ・出血障害のある方
- ・有熱性疾患、結核性疾患、感染症疾患、伝染症疾患、てんかんのある方
- ・皮膚のケロイド症状、創傷治癒欠損など膠原病の既往歴がある方
- ・糖尿病、紅斑性狼瘡、ポルフィリン症、うっ血性心臓病などの疾患がある方
- ・HIV(ヒト免疫不全ウイルス)感染者、またはAIDS(後天性免疫不全症候群)既往の方
- ・ヒアルロン酸、βヒアルロン酸、イソトレチノイン、アゼライン酸で皮膚を治療中の方
- ・イソトレチノインを使用したにきび・酒さなどの治療を過去6ヶ月以内に受けた方
- ・感光性を強める性質のある薬を使用している方
- ・鎮痛剤の服用をしている方
- ・抗凝血剤を使用している方やアスピリンを多用する方
- ・免疫抑制剤を使用している方
- ・知覚障害、温度感覚の自覚ができない方

※この製品の使用に適するかどうかご自身で判断ができない場合、また、使用中に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。



禁止

## 次に該当する場合や、部位には使用しない

事故、肌や身体トラブルを生じる原因となります。

- ・目、目の周り、まぶた、眉毛、喉仏、耳、頭部、髪、へそ内部、口腔内部、唇、乳首、乳輪、外陰部、陰部、肛門、男性はこれらに加えて男性器、その他粘膜質の部位、色素沈着が起きている部位
- ・いぼ、濃いほくろ、そばかす、しみ、濃い色素斑の見られる箇所、大静脈(喉元付近)、傷跡、皮膚に異常の見られる箇所
- ・体内に金属やプラスチック、シリコン注入物、ペースメーカー、皮下埋め込み式カテーテル(ポート)、ピアス、ボディピアス、ヒアルロン酸注射直後、ボトックス注射直後、金などの糸での施術箇所、手術部位がある方
- ・刺青(タトゥー)、ボディペイント、アートメイクのある箇所
- ・長時間効果が持続する制汗剤、日焼け止めを使用している箇所
- ・ボディクリーム・ボディジェル等の保湿剤を使用している部位



禁止

### 子供の近くで使用しない

フラッシュは強い光のため、目を傷める危険があります。



禁止

### 通風孔をふさいだまま使用しない

発煙・発火の原因となります。

# 警告



禁止

電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない  
感電・ショート・発火の原因となります。



禁止

製品に異物を挿入しない  
感電・ショート・故障の原因となります。



禁止

電源アダプターを傷つけたり、電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したりしない  
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

浴室など湿気の高いところでは使用・保管しない  
感電・ショート・故障の原因となります。



禁止

電源アダプター受部にごみ、ほこりを付着させない  
感電・ショート・発火・火災の原因となります。



必ず守る

電源プラグまたは電源アダプターと電源コードは根元まで確実に差し込む  
火災・感電・故障の原因となります。



禁止

光を直接のぞきこんだり、人に向けたりしない  
目を傷める原因となります。使用時に漏れ出る光には害はありません。  
※周りに人がいないところでご使用ください。



必ず守る

コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない  
火災・感電・故障の原因となります。



禁止

タコ足配線をしない  
発熱・発火・破損の原因となります。



プラグを抜く

メンテナンスの際は必ず電源コードをコンセントから抜く  
感電・ショート・発火の原因となります。



禁止

自分で分解・改造・修理をしない  
発熱・発火・破損の原因となります。



水かけ禁止

本体・電源アダプターを水につけたり、水をかけたり、洗ったりしない。お風呂場等の水がかりやすい場所で使用しない  
感電・ショート・発火・故障の原因となります。



禁止

照射口を電気を通しやすい金属などに当てない  
センサーが反応する恐れがあります。

## ⚠ 注意



禁止

過度な連続使用はしない。  
1時間以上使用した場合は電源を切り30分以上休ませる

火災・感電・故障の原因となります。



禁止

本製品が破損または故障した場合は、使用しない

発煙・発火・故障・ケガの原因となります。



禁止

本体・電源アダプター・専用ゴーグル・フィルターに強いショックを与えたり、落としたり激しく振ったりしない

故障・ケガの原因となります。



禁止

肌以外や黒いものに向けて光を照射しない

発煙・発火・故障・ケガの原因となります。



禁止

暗いところでは照射しない

目に一時的な刺激を感じる事があります。



禁止

本製品は一般家庭用商品であり、絶対に業務用としては使用しない



禁止

引火性の物(アルコール・シンナー・ベンジン・除光液・スプレーなど)の近くで使用しない



禁止

15歳以下の子供には使用しない



禁止

ペットには使用しない

ケガをするおそれがあります。



禁止

電源を入れたまま放置しない

感電・ショート・発火の原因となります。



禁止

衣服や髪の毛に照射しない

焦げたり、変色する原因となります。



禁止

同じ箇所日に2回以上使用しない

過度な照射をしても効果は変わりません。ヤケド・ケガの原因となります。



必ず守る

ご自身の各部位の肌の色に合った出力レベル設定で使う

肌に合った出力レベルより高い出力レベルを使用すると、肌トラブルの原因となります。



必ず守る

日焼けをしてから約2週間は使用しない

肌トラブルの原因となります。P.9「日焼け・極度の乾燥肌について」の項をお読みください。



必ず守る

極端に高温または低温の場所、直射日光の当たる場所には保管しない。車中に放置しない

本体が故障する原因となります。

## ⚠ 注意



必ず守る

本製品は顔(喉元、目の周り、まぶた付近は避ける)、ワキの下、腕、腹部、背中、VIOライン、脚等のトリートメントをするためのものです。それ以外の用途や目的で使用しない



必ず守る

電源アダプターが破損、故障した場合は、事故を避けるために必ず販売店に連絡する

発煙・発火・ケガの原因となります。



必ず守る

ご使用になる時は、指輪・腕時計・眼鏡などの貴金属類のアクセサリ一類を身体から外す

ケガをしたり、焦げたり、変色する原因となります。



必ず守る

室温、気圧、温度が急激に変化する環境で使用する場合は、製品をその環境下で3時間ほど慣らしてから使う



必ず守る

使用の都度、掃除する

汚れは焦げ・故障・肌トラブルの原因となります。



必ず守る

乳幼児や自分で意思表示できない人へ使用したり、手の届く場所に置かない

故障やケガ、体調不良の原因となります。



必ず守る

必ず専用の電源コードを使用する

感電・ショート・発火・故障の原因となります。



プラグを抜く

使用時以外は、電源コードをコンセントから抜く

感電・ショート・発火の原因となります。



必ず守る

成長過程にある子供は使用しない。未成年の方は保護者同意の上、保護者監視のもとで使う



プラグを抜く

電源コードを抜く時は、必ず先端の電源プラグ部を持ってひき抜く(金属部に触れないようにする)また、ぬれた手で抜き差ししない

感電・ショート・発火の原因となります。



必ず守る

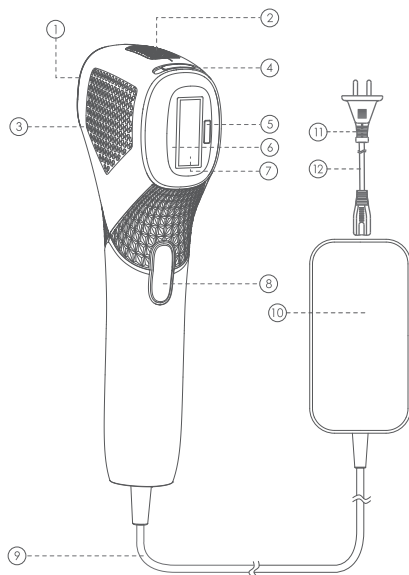
ほりごりがつきにくい場所での保管する



本製品は防水ではありません

# セット内容と各部の名称と製品仕様

## 本体・電源コード ×各1



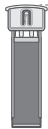





### 各部名称

- ① タッチパネル
- ② 通風孔
- ③
- ④ フィルター差し込み口
- ⑤ スキントーンセンサー
- ⑥ タッチセンサー
- ⑦ 照射口(冷却部)
- ⑧ 照射ボタン(連続照射切替)
- ⑨ 本体コード
- ⑩ 電源アダプター
- ⑪ 電源プラグ
- ⑫ 電源コード

※通風孔を塞がないようにしてください。

※通風孔やフィルター差し込み口にはゴミなど詰め込まないようにご注意ください。

フェイスフィルター (Face/VIO)	ボディフィルター (Body)	プロフィルター (Face/VIO)	フィルター ケース	専用 ゴーグル	取扱説明書 カラーチャート
					
<b>製品仕様</b>					
製品名	エビレув	本体重量	約342g		
型番	PC-940	原産国	中国		
本体サイズ	W:約204mm×D:約100mm ×H:約45mm	材質	本体/フィルターケース：ABS樹脂、PC 専用ゴーグル：PC		
定格電圧	AC100V-240V	セット内容	本体(E-Bodyフィルター+電源アダプター付)、専用ゴーグル、電源コード、フィルターケース(E-Face/E-Proフィルター付)、スキンカラーチャート、取扱説明書(保証書付)		
定格周波数	50/60Hz				
定格電流	1.5-0.55A				

※本製品のデザイン・仕様は、品質向上のため予告なく変更する場合があります。

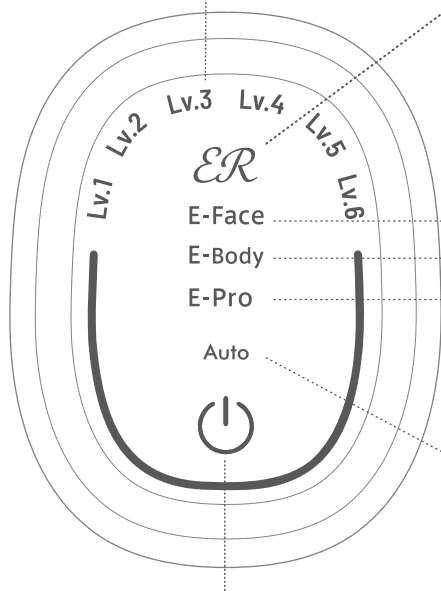
## タッチパネル各部の名称

### 出力レベル表示

現在の出力レベルの強さを6段階表示します。  
※詳しくはP.16をご参照ください。

### 照射可能マーク

照射準備が完了すると点灯します。



### モード表示

「E-Face」

「E-Body」

「E-Pro」

現在のモードを表示します。

### Autoマーク

自動で肌の色を検知し、レベル調整を行う際はマークが点灯します。

※電源ON時は必ず自動レベル調整(オートモード)です。

### 電源/出力レベル切替ボタン

長押し(約2秒):電源のON/OFF。

短押し:オート/マニュアルの切替え。



タッチパネル部に強い衝撃を与えたり、尖ったもので刺さないでください。  
破損の原因となります。



## ご使用前に(日焼け・極度の乾燥肌について)

### 本製品を使用する前に日焼けをした場合



日焼けをした後は、最低2週間空けてから本製品を使用してください。本製品を使用する前には必ず、トリートメントする箇所にスキントテストをし、日焼けした後の肌色に合わせて適切な出力レベルに調節してください(P.13「スキントテストの方法」の項をご参照ください)。

### トリートメント後の日焼けと紫外線ケア



トリートメント後、48時間は日焼けをしないようにしてください。また、外出する際はトリートメントした部位にSPF20以上PA++以上の日焼け止めを塗り、トリートメントした箇所が紫外線に当たることを避けてください。48時間経過後でも赤みなどが見られる場合は紫外線を避けてください。その後も約2週間程度はSPF20以上の日焼け止めを塗り肌を保護してください。

※SPFとはSun Protection Factor(サン プロテクション ファクター)の略で紫外線防御指数ともいいます。日焼け止めなどに表記されている、紫外線の防御効果を表す指標です。

※PAとはProtection grade of UVA(プロテクション グレード オブ UVA)の略で、UVA(長波長紫外線)防止効果の程度を意味します。防止効果の程度は+、++、+++、++++の4種類で表し、+が多いほどその防止効果は高くなります。

### クリームなどによる日焼け



タンニング(日焼け)を促進するクリームなどを使う等、人工的なタンニングをした場合は、その日焼けが落ち着くまで待ってから本製品をお使いください。また、上記「本製品を使用する前に日焼けをした場合」、「トリートメント後の日焼けと紫外線ケア」の手順に従ってください。

### 極度の乾燥肌の方



十分に肌の保湿をおこなってから本製品を使用してください。  
ただし、保湿剤を塗布した肌表面が乾くのを待って照射してください。

## シェービングについて

### トリートメントする部位の毛を処理します。



- 必ずトリートメントする部位を、シェーバー等で処理してからお使いください。
- 毛抜き、ワックスなどで脱毛した場合、毛が再び生えてくるまでは本製品を使用しないでください。目安として1mm以上毛が伸びてきたら、シェーバー等で毛を処理してください。毛を適切に処理せずに本製品を使用すると、本来の効果が得られません。
- 毛を処理した際に切り傷などができた場合、傷が治るまでその箇所はトリートメントしないでください。
- 肌に毛くずが残っている場合、きれいに取り除いてください。
- 事前に体毛を処理しなかったり処理が不十分だったりすると、肌トラブルが生じるおそれがあります。また、汚れや体毛が本製品内にたまりやすくなります。また、汚れや長い毛が残った状態で照射すると、照射後に照射口表面にカスとして焼き付き付着することで故障の原因となります。

## スキンテストの注意事項

- 身体の部位によって出力レベルを自動または手動で変える必要があります。ご自身に合った無理のない出力レベルでご使用ください。
- 光を照射し、温かさや少し熱さを感じる程度であれば問題ありませんが、痛みを感じるような出力レベルでは使用しないでください。
- 肌の色の濃い方は、肌が光を吸収しやすい性質のため、無理な出力レベルで使用すると肌トラブルのリスクが高くなります。そのため、低い出力レベルでのご使用をおすすめしています。肌トラブルについては、P.26「肌のトラブルに関して」をお読みください。
- ご自身が本製品の使用に適しているかどうか判断するため、P.3「次に該当する場合や、部位には使用しない」の項をよくお読みください。特に自然光や人工的な方法で日焼けを行った方は、肌の色が前回のトリートメントの時よりも濃くなっている可能性があります。再度スキンテストを行い、適切な出力レベルに設定してご使用ください。

### 使用可否には別紙の「スキンカラーチャート」を必ずご確認ください。

※同梱の「スキンカラーチャート」は、使用可否の参考にしてください。あくまで目安ですので個人の肌状態に合わせてお使いください。

肌の色に合わせた使用可能レベル参考の目安						
モード	使用可能レベル					
E-Face MODE	Lv 1~6	Lv 1~5	Lv 1~4	Lv 1~3	Lv 1~2	× 使用不可
E-Body MODE	Lv 1~6	Lv 1~5	Lv 1~4	Lv 1~3	Lv 1	× 使用不可
E-Pro MODE	Lv 1~6	Lv 1~5	Lv 1~4	Lv 1~3	Lv 1~2	× 使用不可
肌の色	白色	ベージュ	薄橙色	小麦色	茶色	焦茶色

### ⚠ 注意

- 例外として使用できない箇所については、P.3「次に該当する場合や、部位には使用しない」の項をお読みください。
- トリートメントの際、強い痛みが生じる場合は、痛みを感じないレベルまで出力レベルを下げてください。赤みや肌トラブルがひどくなった場合には、トリートメントをすぐに中止し、P.26「肌のトラブルに関して」の項をお読みください。

### ⚠ 注意

次の部位には照射しないでください。髪・眉毛、まぶた、鼻の穴、唇、喉元等、P.3「次に該当する場合や、部位には使用しない」をご参照ください。

### ⚠ 注意

E-Bodyモードで顔へのご使用はしないでください。出力が強いため、ヤケドなどの原因になります。

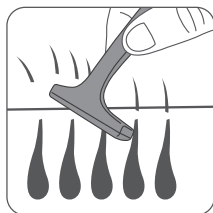
## トリートメントの準備

本製品をご使用の際、以下の手順で準備を行ってください。

### 1 照射部位を剃毛する

トリートメントする部位を、シェーバー等で処理してください。肌の表面に長い毛が残っているとヤケドの原因になることがあります。

※長い毛が残った状態で照射すると、照射後に焼き付き付着することで故障の原因となります。



### 2 電源コードの装着

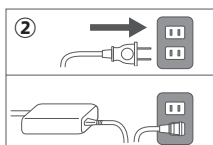
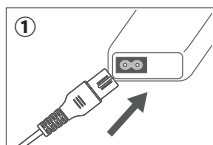
①電源アダプターに電源コードを接続します。

②電源プラグをコンセントに差し込みます。

※電源プラグをコンセントに接続すると、ビピッと音が鳴り、本体の電源ボタンが点灯します。

※フィルターがセットされていない際は電源マークが点滅します。

電源コードを取り外す場合は、②～①の逆手順で行ってください。



同梱されている電源コードは、本製品専用となっており、他製品に使用することは出来ません。他製品に使用したり、他製品のコードを使用すると故障の原因となります。

## トリートメントの準備

### 3 フィルターを装着する

本体にトリートメントする部位のフィルターを装着する。

- ※フィルターをフィルター差し込み口に完全に差し込んでください。
- ※詳しくはP.15「各フィルターの装着方法」をご参照ください。



### 4 本体の電源を入れる

⏻ ボタンを2秒以上タッチすると、タッチパネルに装着しているフィルター名とAutoが表示されます。

- ※起動時は必ず自動レベル調整(オートモード)となっています。
- ※サファイア冷却機能は自動で作動するため、電源を入れると照射口が冷たくなります。
- ※温度差により照射口に結露が発生することがありますが、使用には問題ございません。



フィルターが装着されていないと、電源が入りません。  
必ずフィルターを装着してから電源を入れてください。

### 5 トリートメントの準備が完了

## スキントストの方法(はじめてご使用になる方へ)

本製品を初めてご使用の際、または日焼けをした後はご使用前にトリートメントしたい部分に近い、目立たない箇所ですきントストを行い、24時間後の肌の状態を確認してください。必ずP.12「トリートメントの準備」を行ってから、下記の手順にお進みください。

### 1 スキンカラーチャートで自分の肌と比較

スキンカラーチャートと照らし合わせて、トリートメントする部位の自身の肌の色に合った使用可能な出力レベルを把握する。

- ※必ず出力レベルは「レベル1」から順にテストをしてください。
- ※使用可能な出力レベルを超えて使用するとヤケドの原因となります。



### 2 専用ゴーグルの装着

専用のゴーグルを装着してください。



トリートメント時に強い光を放射しますので、安全のため必ず専用ゴーグルを装着し、光を直視しないでください。

使用時必ず専用  
ゴーグルを装着

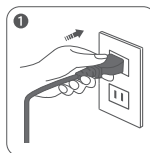


### 3 テスト照射

※通常のトリートメントと同じ手順となります。

① 電源コードをコンセントに接続すると

電源ボタンが点灯します。



② 電源ボタンを2秒以上長押しするとディスプレイが表示されます。



③ 電源ボタンを短押しし、レベルを選択します。

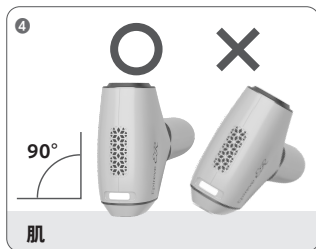
※起動時は自動レベル調整(オートモード)になっておりますので、必ずレベルを選択してください。

④ テスト照射する部位の肌に対して垂直になるように本体を当てます。ピピッと音がなり、「ER」マークが表示されたら照射可能です。照射ボタンを押して照射してください。

※肌に対して斜めにならないように気をつけてください。



本体が肌にきちんと当たっていない場合は照射ができません。



※「ER」マークが表示されているのに照射ボタンを押しても光を照射できない場合はP.25「こんなときは」をご参照ください。

## 4 照射ボタンを押し、照射する

初めて使用する場合や、長い間使用していなかった場合は必ずレベル1から順に使用してください。

詳しくはP.16「出力レベルの調整」をご参照ください。  
下記の順番でテスト照射を開始してください。  
持ち手内の照射ボタンをしっかりと押して照射してください。

※「E」マークが表示されていない場合は照射できません。

※照射時に漏れた光に害はありません。



テスト照射する

赤みやひりつきなど  
異常がないか確認

出力レベルを  
1上げる

照射部位をずらす

### ⚠ 注意

- 一箇所に1日2回以上光を照射しないようにしてください。肌トラブルの原因となります。顔にご使用の際は、メイクを落として清潔な状態でご使用ください。
- 次の部位には照射しないでください。髪・眉毛、まぶた、鼻の穴、唇、喉元等、P.3「次に該当する場合や、部位には使用しない」をご参照ください。

※照射する瞬間は、ゴーグルをしても、光を直視しないでください。  
ほくろ、濃いシミ、そばかす、肝斑の部位は避けてください。

※同梱の「スキンカラーチャート」は、使用可否の参考にしてください。あくまで目安ですので自身の肌の状態に合わせてお使いください。

※使用可能な肌の色でも、出力レベルは必ずレベル1から行ってください。

※使用可能な出力レベルでも、日焼けによる赤み、ほてりのある部分にはご使用しないでください。

## 5 終了

スキンテストを終了します。電源ボタンを2秒以上タッチして電源を切ってください。



## 6 スキンテスト結果確認

24時間待ち、肌の状態を確認します。  
肌に異常が見られなかった場合、本製品をお使いいただけます。

※もし肌に赤み・ひりつきなどの異常が見られた場合は、異常が起きなかった出力レベルを選んで今後のトリートメントを行ってください。

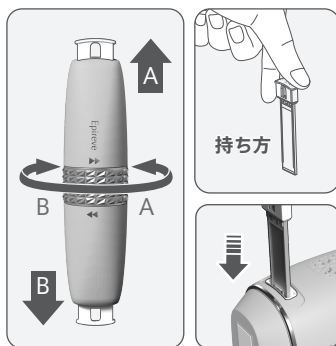


## ご使用方法 (各フィルターについて)

※フィルターを装着すると、フィルターの種類に合わせたモードが自動的に選択されます。

モード	モード詳細	使用フィルター
E-Face	お顔に特化したモードです。 ムダ毛+美肌ケアが可能です。	フェイス フィルター
E-Body	出力の高いモードです。毛が太いボディに最適です。	ボディー フィルター
E-Pro	センシティブな部位に特化したモードです。 VIOに最適です。	プロ フィルター

## 各フィルターの装着方法



### ■ フィルターケースから取り出す

フィルターケースの中央部(ダイヤカット)を取り出した  
いフィルターの方にひねると(イラスト参照)フィルターの  
先端が出てくるので、白い部分をつまみ、垂直に優しく取  
り出してください。

### ■ 装着

フィルターの両端部分を持ち、照射口から見て文字が  
逆さになる向きでゆっくり押し込んでください。

※必ず電源を切った状態で装着してください。

### ■ 取り外し

電源を切り、フィルターの両端部分を持ち上げるようにし  
て取り外し、フィルターケースに戻して保管してください。



※正しい方向でないとフィルターは差し込めま  
せん。無理に差し込むと故障の原因となりま  
すので向きにご注意ください。

※フィルターガラス部分は手で触れないでくだ  
さい。故障の原因となります。



## 出力レベルの調整

出力レベルの調整には2種類あります。



### 手動レベル調整(マニュアルモード)

スキントーンセンサーで確認した肌の色に合った出力レベルを手動で設定。(レベル表示ありの時)

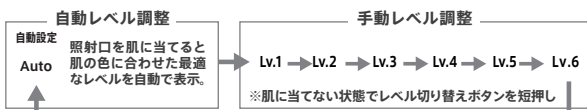
### 自動レベル調整(オートモード)

スキントーンセンサーで肌の色を認識し、各部位の肌の色に合わせた最適なレベルを自動で設定する機能が搭載されています。(Auto表示の時に照射口を肌に当てる)



「 ボタン」を短押しするごとに、下記の順でレベルが変更されます。

※電源をONにした直後は自動レベル調整に設定されています。



※自動レベル調整は、あくまで目安ですので個人の肌状態に合わせてお使いください。痛い場合は手動でレベルを変更してください。

## 単発/連続照射について

通常は単発照射になっていますが、照射ボタンを2秒以上長押しするとビビビッと音が鳴り、連続モードになります。再度2秒以上長押しすると、ビッと音が鳴り単射モードに戻ります。



照射ボタン2秒以上長押し





## 注意

同一箇所に1日2回以上光を照射しないようにしてください。  
肌トラブルの原因となります。顔にご使用の際は、メイクを落として  
清潔な状態でご使用ください。

### ..... 単発照射・連続照射の共通準備手順。 .....

## 1 専用ゴーグルの装着

専用のゴーグルを装着してください。



トリートメント時に強い光を發しますので、安全のため  
必ず専用ゴーグルを装着し、光を直視しないでください。

使用时必ず専用  
ゴーグルを装着



## 2 フィルターを装着する

トリートメントする部位に合わせ、フィルターを装着してください。

※詳しくはP.15「各フィルターの装着方法」をご参照ください。

電源プラグをコンセントに接続するとビピッと音が鳴り、  
本体の⓪ボタンが点灯します。



E-Face

顔のムダ毛&  
美肌ケア



E-Body

身体のムダ毛ケア



E-Pro

VIOのムダ毛&  
美肌ケア



## 3 本体の電源を入れる

⓪ ボタンを2秒以上タッチすると、タッチパネルに装着して  
いるフィルター名とAutoが表示されます。

※起動時は必ず自動レベル調整(オートモード)となっています。

※サファイア冷却機能は自動で作動するため、電源を入れると照射  
口が冷たくなります。

※温度差により照射口に結露が発生することがありますが、使用に  
は問題ございません。



フィルターが装着されていないと、電源が入りません。  
必ずフィルターを装着してから電源を入れてください。

..... ここまでは単発照射も連続照射も同じ手順です .....

## 4 出力レベルを設定

下記どちらかのモードに設定してください。

- ・照射口を肌に当てると最適なレベルを自動で設定するオートモード
- ・スキントテストで確認した出力レベルに手動で設定するマニュアルモード

※ 詳しくはP.16の「出力レベルの調整」をご参照ください。

※ 自動レベル調整は、あくまで目安ですので自身の肌の状態に合わせてお使いください。痛い場合は手動でレベルを変更してください。



フィルターを装着すると、フィルターの種類に合わせたモードが選択されます。

## 5 照射

### ・単発照射

- ① 肌に対して本体を垂直に当てるようにすると、ピピッと音がなり「ER」マークが表示されたら照射可能です。

持手部分の照射ボタンをしっかりと押しして照射。

図1の順番で照射してください。

トリートメントしたいすべての部位に繰り返します。



図1

照射する

照射部位が  
重ならないように  
照射面を一面分ずらす

### ・連続照射

- ② 連続で照射したい場合は照射ボタンを2秒以上長押しすると、連続モードに切り替わります。

肌に対して本体を垂直に当てている間、自動的に照射され続けます。(斜めになると停止します)照射口を肌に当て1箇所照射したら、次の箇所へと滑らせて照射位置を移動させます。

※ 「ER」マークが表示されているのに照射ボタンを押しても光を照射できない場合はP.25「こんなときは」をご参照ください。

※ 照射時に漏れた光には害はありません。

※ 照射する瞬間は、ゴーグルをしていても、光を直視しないでください。ほくろ、濃いシミ、そばかす、肝斑の部位は避けてください。

※ トリートメントの手順・頻度(P.20～22)にしたがってご使用ください。



### ⚠ 注意

- ・通風孔を塞がない様を持つ
- ・肌にしっかりと垂直にフィットさせて照射する。

## 6 電源を切り、肌を保湿する

トリートメントが終了したら、**電源ボタン**を2秒以上長押しをして電源を切ってください。

※ トリートメントした部位を保湿剤などで保湿シケアしてください。



## 使用部位とおすすめモード

### E-Face

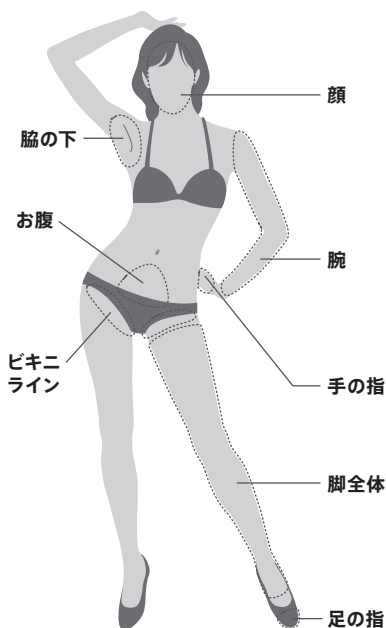
顔  
手・足の指

### E-Body

脇の下 脚全体  
腕

### E-Pro

胸 VIO



#### 照射回数目安

顔  
約 40 回

ビキニライン  
約 30 回

両脇  
約 30 回

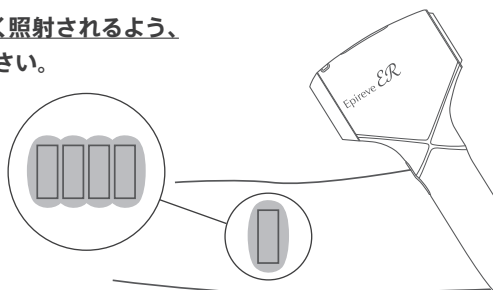
両腕  
約 90 回

両脚  
約 190 回

**⚠️ 注意** 次の部位には照射しないでください。髪・眉毛、まぶた、鼻の穴、唇、喉元等、P.3「次に該当する場合や、部位には使用しない」をご参照ください。

## 照射範囲の目安

お手入れしたい箇所が隙間なく照射されるよう、  
少しずつずらして照射してください。

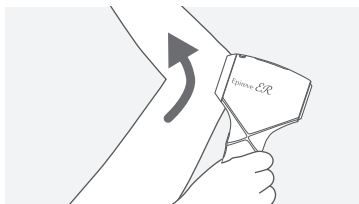


● 照射面が当たる範囲

□ 光が照射される範囲(照射口の面積)

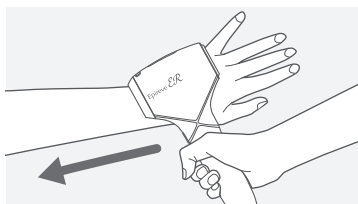
## トリートメント手順

※P.10～18「スキントテストの注意事項」「トリートメントの準備」「スキントテストの方法」「ご使用方法」を必ずお読みください。



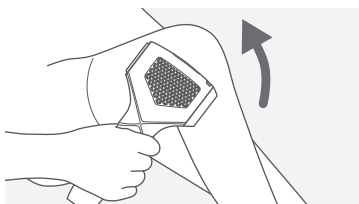
### ■ひじ

ヒジを軽く曲げ、矢印の方向にまんべんなく照射してください。



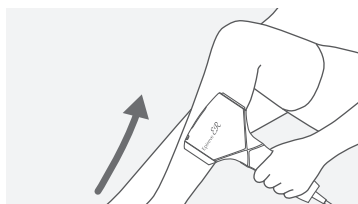
### ■腕

矢印の方向にまんべんなく照射してください。



### ■ひざ

ヒザを軽く曲げ、矢印の方向にまんべんなく照射してください。

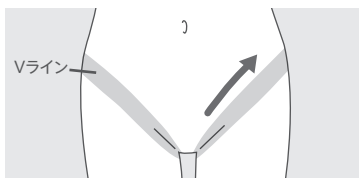


### ■脚

矢印の方向にまんべんなく照射してください。

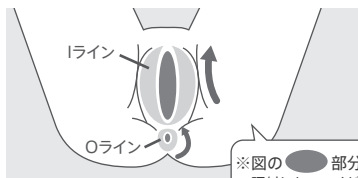
## VIOライン

VIOラインは必ず単発照射でケアしてください。照射箇所が目視しやすいよう、奥から手前、下から上方向に動かしてください。



### ■Vライン

脚を伸ばし肌にシワがよらないように、矢印の方向へまんべんなく照射してください。



### ■Iライン・Oライン

必ず手鏡などで確認しながら矢印の方向へまんべんなく照射してください。  
※色素が濃い場所は避けてください。

※図の●部分には照射しないでください。

### ⚠注意

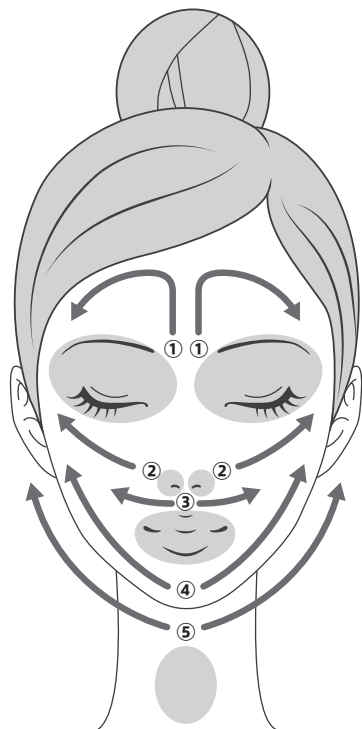
次の部位には照射しないでください。髪・眉毛、まぶた、鼻の穴、唇、喉元等、P.3「次に該当する場合や、部位には使用しない」をご参照ください。

## 顔

※P.10～18「スキントテストの注意事項」「トリートメントの準備」「スキントテストの方法」「ご使用方法」を必ずお読みください。

**△ 注意** 顔にご使用の際は、メイクを落とし  
て清潔な状態でご使用ください。

- ① 額  
中央から外側、髪に照射しないように  
フェイスラインに沿って照射する
- ② 頬  
小鼻から頬に向かって照射する
- ③ 鼻下  
中心から左右に向かって照射する
- ④ 顎  
顎から頬に向かって照射する
- ⑤ フェイスライン  
下顎から耳の横に向かって照射する



※図の ● 部分には照射しないでください。

### △ 注意

以下の部位には照射しないでください

髪・眉毛、まぶた、鼻の穴、耳の穴、唇、喉元

※E-Bodyモードで顔へのご使用はしないでください。出力が強いため、ヤケドなどの原因になります。

## トリートメントの頻度

トリートメントの頻度は1部位につき、下記を目安にお使いください。

<全てのモード共通>

# 週に1~3回

※中2日以上空けてください。

個人差はありますが約3ヶ月間継続していただくことで効果が感じられます。

最適なトリートメントの頻度は、個人の体質や身体の部位によっても差があります。  
トリートメントの効果が感じられない場合は、トリートメントの頻度を上げることをおすすめします。



**注意**

一度トリートメントをした箇所に連続して使用しないでください。  
過度にトリートメントをしても効果は変わらず、肌トラブルの危険性が高まります。

※効果は使用する部位や個人によって異なります。

※毛周期の違いによって光に反応しなかった毛が生えてくる場合があります。

継続してトリートメントすると徐々に効果が表れます。おすすめの時期は毛の生え始めです。

## 肌トラブルを防ぐために

- トリートメント直後の肌に、刺激を与えない  
トリートメントした直後に、肌を摩擦するような行為は控えてください。
- 肌を十分に保湿する  
トリートメント後、肌が乾燥したりかゆみが出ることがあります。  
肌の乾燥を感じる場合は保湿剤などで肌を保湿してください。
- トリートメント当日は入浴を避け、シャワー等で洗い流す
- ほてりや赤みがある場合には、冷やしたタオルや流水にあて、肌を冷やす  
トリートメント後は、肌自体を冷やし休ませてください。
- トリートメント当日の海水浴・温泉の入浴・激しい運動・飲酒は避ける
- お手入れ直後の箇所に、香水や制汗剤の塗布、メイクはしない  
赤みが完全に引くまで使用を控えてください。

## メンテナンス方法

性能を最適に保つため、毎回ご使用になる前と後に必ず本製品の掃除を行い、必要に応じてトリートメントの最中にも掃除を行ってください。

### ⚠ 注意

- 本体・電源アダプター・電源コードは絶対に濡らさないでください。
- 圧縮空気、研磨パッド、研磨洗浄剤、ペトロロールやアセトンなどの刺激性の強い液体は絶対に使わないでください。
- 通風孔やフィルター差し込み口にはゴミなど詰め込まないようご注意ください。

#### 1. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品を冷まします。

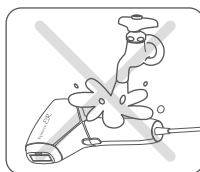
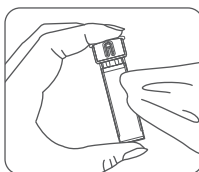
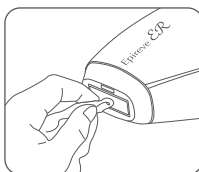
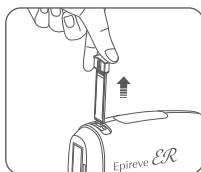
※照射口は使用中熱くなる場合がございます。掃除を行う前に十分に冷ましてください。

#### 2. やわらかい布を少量のアルコールで湿らせ、本体の照射口と各フィルターをやさしくふき取ります。

※各フィルターの細かな部分が掃除しづらい場合は、綿棒を使ってください。繊維などが残らないようにお気をつけください。

※照射口表面の汚れをそのままにすると接触面が熱くなる場合があります。

#### 3. 必要に応じて、本体外側を乾いた布等でやさしくふいてください。



※本製品の水洗いは、絶対にしないでください。

## 点検について

- 長期間使用しなかった本製品を再び使用するときは、使用する前に必ず本製品が正常かつ安全に動作することを確認してから使用してください。
- 本製品の動作に不具合が生じた場合は、修理を依頼される前にP.25「こんなときは」を参照して、症状についてご確認ください。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

## 保管について

本品は次のような場所に保管してください



水平で安定した場所



風通しの良い場所

気温 5~35℃  
湿度 20~80%

上記の気温と湿度の場所

本品は次のような場所に保管しないでください

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に保管すると動作不良の原因となりますので、絶対に避けてください。



直射日光の  
当たる場所



ホコリやチリの  
多い場所



温度変化の  
激しい場所



湿度変化の  
激しい場所



火気のある場所



水に濡れ  
やすい場所



揮発性物質の  
ある場所



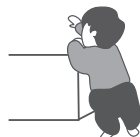
冷暖房機器に  
近い場所



振動のある場所

### ⚠ 注意

乳幼児や自分で意思表示できない人へ使用したり、手の届く場所に置かないでください。事故や体調不良の原因となります。





## こんなときは

こんな症状	処置方法
○ボタンを押しても電源が入らない/誤作動を起こす	電源プラグがしっかりとコンセントに差し込まれているかご確認ください。
	本製品の○ボタンは2秒以上の長押しにより、電源が入ります。2秒以上長押ししても電源が入らない場合は販売店までご連絡ください。
	フィルターが正しく装着されていない可能性があります。正しい向きで装着されているかご確認ください。
使用中に本体が熱くなる	本体の特性上、温まってきますが、万が一電源を入れてすぐに高熱になるようでしたら使用を中止し販売店までご連絡ください。
照射ボタンを押しても照射できない	照射口が垂直に肌に当たっていない可能性があります。
	肌が異常に乾燥している可能性があります。保湿剤などを塗布して保湿してください。ただし、保湿剤を塗布した肌表面が乾くのを待って照射してください。
	照射ボタンをきちんと押しているかご確認ください。 照射準備が完了し、「ERR」マークが表示されているかご確認ください。
電源が切れる	電源プラグがしっかりとコンセントに差し込まれているかご確認ください。
	1分間無操作で冷却OFF、5分後に電源OFF、15秒後にファンOFFします。
照射された光が熱いまたは痛く感じる	レベルが高すぎる可能性があります。○ボタンを押してレベルを下げてください。
	肌表面にムダ毛が残っている可能性があります。ムダ毛をしっかりと処理し、毛くずを払ってください。
	日焼けやほくろのある部位に使用した可能性があります。使用禁止部位に照射していないかご確認ください。
光がまぶしい	照射口が肌にしっかりと当たっているかご確認ください。
	必ず専用ゴーグルを装着し光を直視しないでください。
その他、異常を感じた場合	直ちに使用を中止し、販売店までご連絡ください。

※上記確認を行っても正常に動作しない場合は、販売店までご連絡ください。

## エラーに関して

表示内容	対処方法
“E-Face”点滅	【冷却ファンの異常、停止】一度電源を切ってから、再度電源を入れ直してください。
“E-Body”点滅	【本体の温度が高く、安全装置が作動し、止まる】電源を切って、本体の熱が取れるまで冷ましてください。(目安:10分程度)その後、再度電源を入れ直してください。
“E-Pro”点滅	【電源アダプターの異常、電力の供給不足】1度電源を切ってから、電源コードが正しく接続されていることを確認し、再度電源を入れ直してください。
“Auto”点滅	【冷却機能の異常、停止】電源を切って、本体の熱が取れるまで冷ましてください。(目安:10分程度)その後、再度電源を入れ直してください。
“電源マーク”点滅	【フィルターが装着されていないと操作ができない】フィルターを正しい向きでしっかりと装着してください。

## よくあるご質問

こんな症状	処置方法
本体の掃除にアルコールやエタノールを使用できますか？	本体のお手入れには、アルコールやエタノールは使用できません。照射口やフィルターにはお使用いただけます。刺激性の強い液体は絶対に使用しないでください。故障や部品の割れ、変色などの原因になります。
何か焦げたような匂いがするのですが大丈夫ですか？	フラッシュによりムダ毛に熱が加わった為です。電源を切り、ムダ毛が生えている場合は毛が1mm以下の状態になるようシェービングし、再度ご使用ください。
フラッシュの光が火花のように見えるのですが？	本製品の使用している光の波長は赤色に見えます。火花ではなく光美容の色ですので問題ございません。
照射口に水滴がつくのですが？	温度差により照射口に結露が発生することがあります。使用には問題ありませんが、気になる場合は乾いた布でやさしくふき取ってください。
男性も使用可能ですか？ヒゲにも使えますか？	使用可能です。ヒゲのムダ毛ケアにも使用できますが、男性のヒゲは密集度が高いため強い痛みが生じる場合があります。継続して根気強くトリートメントすると徐々に効果が表れることがあります。※個人差があるため効果が感じられないこともあります。
剃毛した直後に使用できますか？	ご使用は可能ですが肌が過敏になっていることもあるため、保湿などをした上でご使用ください。剃毛は1～2日前がおすすめです。
顔のムダ毛ケアはできますか？	顔のムダ毛ケア時はE-Faceモード
肘や膝は他に比べムダ毛ケアの効果が出にくいのですが？	肘や膝など皮膚と骨が近い場所は効果が出にくいですが、継続してトリートメントしていただくことで徐々に効果が表れます。※効果には個人差があります。
ムダ毛ケア/美肌ケアの効果が感じられないのですが？	最適なトリートメントの頻度は、個人の体質や身体の部位によって差があります。トリートメントの効果が感じられない場合はトリートメントの頻度を上げることをおすすめします。 ※効果は使用する部位や個人によって異なりますので連続使用などの過度なトリートメントは肌トラブルの危険性が高まりますのでお止めください。
使用できない部位はありますか？	次の部位には照射しないでください。髪・眉毛、まぶた、鼻の穴、唇、喉元等、P.3「次に該当する場所」には使用しないをご参照ください。
妊娠中や出産後は使用できますか？	妊娠中、授乳中、生理中は使用しないでください。産後の体調には個人差がありますので、ご自身で判断できない場合、使用中に異常を感じた場合は、かかりつけの医師にご相談ください。
フィルターにヒビが入っても使用できますか？	使用できません。フィルターが破損した場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

## 肌のトラブルに関して

こんな症状	処置方法
ケア後、肌に少し赤みが出て、ひりひりと熱く感じるのですが？	通常はすぐにこれらの症状は消え感じなくなります。やけどのような状態が少しの間あらわれることもあります。3日以内にこの症状が治らない場合は医師にご相談ください。
ケア後、肌が乾燥してかゆみがあるのですが？	通常は数日でおさまりますが、かゆい場合は肌を冷却剤や濡れタオルなどで冷やしてください。また、トリートメント後は保湿剤などで肌を保湿してください。
肌にヤケド、強い赤み、腫れの症状が出たのですが？	ご自身の肌の色に対してレベルが強すぎた場合、まれに起こることがあります。もしもこれらの症状が3日以内に消えない場合は、医師にご相談ください。再び使用する場合は、完全に肌が健康な状態に戻ってから弱いレベルから使い始めてください。
照射すると、極度の痛みを感じるのですが？	お手入れ前に剃毛せずにこの製品を使用すると、強い痛みが生じる場合があります。また、ご自身の肌に適した出力レベルよりも高い設定でご使用になったり、同じ箇所にも2回以上照射したり、傷や炎症、感染症、刺青(タトゥー)、やけどなどのある箇所に使用しても、強い痛みが生じる場合があります。(P.3「次に該当する場合や、部位には使用しない」をご参照ください。) ※自動レベル調整(オートモード)は、あくまで目安ですのでご自身の肌の状態に合わせてお使いください。痛みを感じる場合は手動でレベルを低くしてください。
ケア後、肌の変色・感染・炎症が起こったのですが？	色素沈着(肌の色が濃くなる)または色素脱色(肌の色が薄くなる)は、ご自身の肌の色に対して光の強さが強すぎた場合にまれに起こります。このような症状の際は医師にご相談ください。感染や炎症は剃毛の際にできた傷や、元々の傷の箇所、埋没毛に照射したことが原因で起こる可能性があります。傷や埋没毛が治るまで使用しないでください。

## 保証とアフターサービスについて

### 保証書について

保証書は取扱説明書の最後のページについておりますので必ず「販売店・お買上日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年とします。この保証は本体にのみ適用し、各フィルター・フィルターケース・専用ゴーグル・電源コードには適応されません。

### 修理を依頼される前に

修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合はお買い上げの販売店もしくはお客様相談室へご相談ください。

### 故障した場合の連絡について

お買い上げの販売店もしくはお客様相談室へご連絡いただき、修理をご依頼ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店もしくはお客様相談室へご相談ください。部品交換によって商品の機能が維持できる場合はご希望により有料部品交換、または有償にて代替交換対応とさせていただきます。

### 保証部分の最低保有期間について

本製品の補修用部品については、最低3年間を目安に保管しておりますので、原則として本製品の部品交換可能期間は3年間となります。なお、期間経過後であっても部品交換可能な場合もありますので、お買い上げの販売店もしくはお客様相談室へお問い合わせください。

### 修理をお受けになる場合の注意

お買い上げの販売店もしくはお客様相談室へ修理を依頼された場合、部品交換代が1万円以内の場合は、お客様にご連絡せずに修理を行います。なお、修理代が1万円を超える場合には、修理を依頼された販売店またはお客様にご連絡し、了解を得た後部品交換いたします。※万が一不透明点などがある際はお客様に直接ご連絡させて頂くこともあります。

## 保証規約

- 取扱説明書の注意書きにしたがって使用した状態で保証期間内に故障した場合には修理または交換対応とさせていただきます。修理または交換対応をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店へ商品と本誌をご提示いただきお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料になります。
  - 当製品に付属の電源コード以外を使用した場合
  - 取扱説明書以外の使用上の誤りに起因する故障および損傷
  - 不当な修理や改造による故障や損傷
  - お買い上げ後の保管場所・輸送・落下などによる故障および損傷
  - 一般家庭以外(例えば業務用)に使用された場合の故障および損傷
  - 保証書のご提示がない場合
  - 保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合(通信販売にてお買い上げのお客様はお届け伝票をご提示ください)
  - 車両・船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷
  - 火災・地震・水害・落雷・その他天変地異・異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)など
  - 当社以外で誤った修理をしたり、改造したために生じた故障および損傷
  - 正規販売店以外(リサイクルショップ・ネットオークション等)で購入した場合
- 本保証書は、日本国内でのご購入・ご使用のみ有効です。(国外でのご購入・ご使用の場合は保証対象外となります)
- 本保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて修理または交換対応をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を宣言するものではありません。保証期間経過後の交換についてご不明な点は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

保証期間経過後の部品交換や、補修部品の保管期間については、取扱説明書の「保証とアフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の修理または交換対応及びその他の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

本製品を破棄される場合には、各自治体のゴミ処理規定に従って処分してください。